# 令和５年度事業計画

３Ｒ活動推進フォーラムは、規約およびこれまでの活動内容に示すとおり、国民、事業者、行政、研究機関等が一体となって発生抑制、再使用、再生利用の３Ｒによる循環型社会づくりを推進することを目的として、産官学民が参加し、国内のプラスチックの資源循環や循環経済に関する取組、内外の動きについて、情報発信、情報共有する場を提供してきた。

今後は、国内外の動きや新たな時代の要請を踏まえ、当フォーラムは「３Ｒ」から「３Ｒ・資源循環」、「３Ｒ・循環経済」へ事業展開を拡大させていくため、関係者間の情報交換・意見交換・交流の場を積極的に提供することを含め、以下の令和５年度事業計画に従って事業を実施していく。

## Ⅰ　事業計画

### １　３Ｒ推進全国大会及び関連事業

「第 17 回３Ｒ推進全国大会」（以下、「３Ｒ推進全国大会」という。）を開催するとともに、大会式典で循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰及び３Ｒ促進ポスターコンクール最優秀賞表彰等を実施し、地方セミナーにおいては各主体が具体的な行動を起こしていただくための情報提供を行う。

#### （１）第 17 回３Ｒ推進全国大会

①開催目的

国民・事業者・行政が一堂に会し、プラスチック資源循環の促進や循環経済の普及などを促進するため、参加者一人ひとりが資源循環・３Ｒ推進に関する理解を深めるとともに、循環型社会の形成に向けた取組を推進することを目的とする。

②開催予定日時

令和 5 年 10 月 25 日（水）13:00～16:30

③開催予定場所

あきた芸術劇場ミルハス（〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町 2-52）

④主催

第 17 回３Ｒ推進全国大会実行委員会（環境省、環境省東北地方環境事務所、秋田県、３Ｒ活動推進フォーラム）予定

#### （２）循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰審査等業務

循環型社会形成推進功労者を表彰する制度は、廃棄物の発生量の抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の適切な推進に顕著な功績があった個人、企業、団体を

表彰し、その功績をたたえて、循環型社会の形成の推進に資することを目的として、平成 18 年度に環境省によって開始された。

申請は、都道府県、環境省地方環境事務所、３Ｒ活動推進フォーラムから行われ、環境省が審査・決定し、３Ｒ推進全国大会式典の席上で表彰式を行っている。３Ｒ活動推進フォーラムの場合、会員団体から推薦をいただき、環境省に推薦をする。

①公募開始　　令和５年４月下旬 予定
②応募締切り　令和５年６月下旬 予定
③審査会　　令和５年８月下旬　予定
④表彰式　　令和５年 10 月 25 日（水）開催　第 17 回３Ｒ推進全国大会

### （３）３Ｒ促進ポスターコンクール選定等業務

３Ｒ促進ポスターコンクールは、毎年、環境省と共催で実施しているもので、循環型社会の形成を推進するために、全国の小学生、中学生を対象に３Ｒを促進するための啓発用ポスターを公募し、優秀な作品を選考・表彰することにより、生徒一人ひとりが循環型社会のあり方について考えるきっかけにするとともに、優秀な作品を全国の３Ｒ活動の推進に活用するなど普及啓発に資することを目的としている。

①公募開始　　令和５年５月下旬（予定）
②応募締切り　令和５年９月中旬（予定）
③審査会　　令和５年９月下旬（予定）
④表彰式　　令和５年 10 月 25 日（水）開催　第 17 回３Ｒ推進全国大会

### （４）環境省主催地方セミナー

環境省主催によるセミナーを都道府県、市町村、環境省地方事務所等と連携し、開催する。

## ２　連携・協働事業

令和４年度に行った事業をもとに以下の事業を継続して実施する。

行政、企業、ＮＰＯ団体等と連携・協働して、直近の課題や循環経済をテーマに設定してセミナー等を開催し、情報提供していく。

### （１）３Ｒ推進団体連絡会との共催による容器包装交流セミナー

３Ｒ推進団体連絡会（容器包装８素材団体）と３Ｒ活動推進フォーラムでは、３Ｒ・循環経済をテーマにＮＰＯ団体、事業者、自治体などのステークホルダーが一堂に会し、主体間の信頼と連携・協働の輪が大きく広がることを期待して、全国各地でセミナーを開催する。

### （２）持続可能環境センターとの連携

環境が将来にわたって持続するよう、家庭・企業・コミュニティ等において必要な知見を共有化するとともに、活動の輪を広げるための教育・人材の育成等を支援することにより、持続可能な地域社会づくりに貢献する目的のため連携活動を継続する。次年度の活動は以下の予定。

①持続可能環境センター（３Ｒ・低炭素社会検定）総会・運営委員会・企画委員会
②３Ｒ・低炭素社会検定試験講習開催　運営業務（関東地区：東京会場）

③３Ｒ・低炭素社会検定試験開催　運営業務（関東地区：東京会場）
④合格者向けの記事　「ニュースレターR でつながる」３Ｒ・低炭素社会検定ニュースレター編集委員会

**（３）リデュース・リユース・リサイクル推進協議会との連携**

①第２回（令和５年度）３Ｒ・循環経済先進事例研究発表会（３R＋Renewable）の開催
2023 年８月　発表事例企業の公募開始
2023 年 11～12 月　開催予定（オンライン開催の予定）
②循環・３Ｒリレーセミナー
2024 年 2 月開催予定（オンライン開催もしくは現地開催）

**（４）廃棄物・３Ｒ研究財団＆３Ｒ活動推進フォーラム年次報告会**

公益財団法人廃棄物・３Ｒ研究財団とともに年次報告会を開催し、３Ｒ活動推進フォーラムの活動報告を行う。

**（５）とやま環境フェア出展**

2023 年度の開催方法に合わせて、ＷＥＢもしくは現地での参加を検討する。

**（６）スチール缶リサイクル協会との連携**

地方自治体等が主催する海岸清掃や散乱防止・美化キャンペーン等に参加する。なお、参加についてはスチール缶リサイクル協会と連携する。

**（７）資源リサイクル促進センターとの連携**

全国の小学生を対象に夏休みを利用して「ごみ減量、３Ｒ・循環型社会」に関心と理解を深め、循環型社会に向かうための自分のアイディアを形にして他者に伝えるポスター制作の方法のＷＥＢセミナーを開催する。
対象：全国の小学生（３部制の予定）
開催スケジュール：
2023 年４月　全国小中学校環境教育研究会と連携し広報を開始
2023 年６月　ＷＥＢ申込公開（申込開始）
2023 年７月～８月実施予定

## ３　実務講座・相談事業

**（１）自治体、事業者からの自治体・事業者との勉強会、研修**

要望に応じて勉強会や研修を実施する。

**（２）講師派遣**

自治体、事業者からの要望に応じて、講師を紹介、派遣する。

## ４　広報普及事業

### （１）ＨＰやメルマガを通じた普及啓発活動

会員との連携を強化し、相互に情報提供を行えるような関係性を構築するため、一方向の情報発信に依存せず、双方向のコミュニケーションにより価値ある情報交流を行い、さらなる信頼関係の構築を目指す。

メルマガは、廃棄物・３Ｒ研究財団と共に１か月に２回程度の配信を行う。

### （２）会員向けサービス

組織の強化・拡充と相俟って、会員サービスの充実を図っていく。

令和４年度より開始した「動画配信」のコンテンツを増やす。

年に３～４回（予定）の会員向けの事務局通信では、自治体関連企業へ取材を行った記事を掲載する等、フォーラムの活動報告以外のコンテンツや、令和４年度会員アンケート結果に多かった循環経済に関する情報の発信を行う。

### （３）３Ｒ促進ポスターコンクール展示会（令和４年度入賞作品）を通じた３Ｒ推進普及活動

引き続き、令和４年度３Ｒ促進ポスターコンクールの優秀賞・最優秀賞の作品のパネルの貸し出しを行い、３Ｒ促進の普及啓発に努めると共に、当年度のコンクールの応募へのきっかけとなるように、公共の場の展示スペースを調査し展示を行う。

### （４）後援、協賛、協力等

各団体の要請にこたえて実施していく。

### （５）Ｒマーク表示の啓発普及

Ｒマーク（再生紙使用マーク）については、環境省が策定した環境表示ガイドラインの表示方法、普及推進するための広報活動の強化に努めていく。

### （６）その他、相談対応について

令和４年度の問合せ内容を精査し、必要に応じてＨＰ上によりわかりやすく表示する工夫を行う。

連携等の相談については、廃棄物・３Ｒ研究財団とも連携し、課題解決につながるよう情報提供を行う。

### （７）メディア掲載

専門新聞・雑誌の取材について、積極的に協力していくとともに、当フォーラムの事業についての情報提供を定期的に実施するなど記事掲載等による 周知を図っていく。（月刊廃棄物、環境新聞、循環経済新聞、環境産業新聞 等）

また、新たな広報協力（ＳＮＳ等）も検討する。

## Ⅱ　組織運営

### １　理事会・総会

令和５年度理事会・総会を５月末から６月に開催する。

### ２　企画・運営委員会

令和５年度企画・運営委員会をオンライン形式にて開催し、３Ｒ活動推進フォーラムの役割の強化・拡充等について意見交換を行う。

第１回　2023 年７月

第２回　2024 年３月